



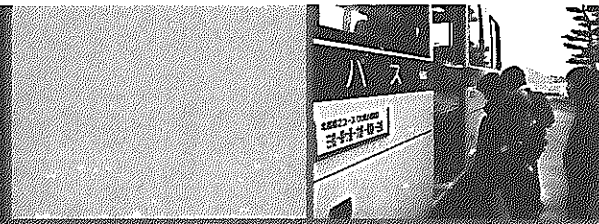
市長年頭のあいさつ& 平成16年を振り返って



CONTENTS (もくじ)

- 市長年頭のあいさつ&平成16年を振り返って..... 2、3
- 循環バス試行運行スタート..... 4、5
- 区割りパターン意見募集
第1次結果報告..... 6~9
- 市政クリップ・まちの話題..... 10、11
- 申告前の豆知識..... 12、13
- お知らせ..... 14~17
- みんなのページ..... 18
- ズームアップ..... 20

表紙 循環バス試行運行初日



広報 しろね

1. 1&15
2005 No. 676

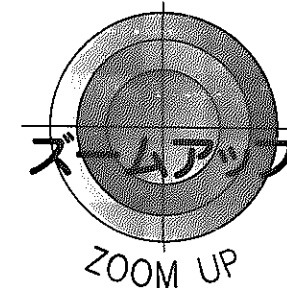
広報しろねは、ホームページでもご覧になれます
<http://www.city.shirone.niigata.jp>

※資源保護のため100%再生紙を使用しています

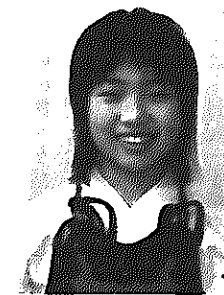
※紙上の記事・写真の無断転用を禁じます



12月19日、北翔館道場の平成16年納会でのけいこの様子。



最大の武器は素直な気持ち 剣道全国大会出場



本永みなみさん

「どんなに具合が悪くても、剣道だけは休まない。本当に頑張り屋」。人一倍、生懸命けいこに打ち込む姿は、周りの誰もが認めています。

本永みなみさん(北中二年生)は、小学一年生のときに北翔館道場に入門。指導に当たる横山さんは、「彼女は、言われたことを素直に聞く耳を持っている子。そして、聞いたことは忠実に自分のものにする。だから本当にきれいな剣道をするんだ」と言います。

県大会決勝の相手は、全国大会経験者。「負けてもいいから自分なりの剣道をしなさい」と臨みました。試合は相手のペース。かなり追い込まれた中、一瞬のすきをつき一本が決まりました。「すこくうれしかった」と、その瞬間を思い出して、笑顔で振り返ります。

寒い冬のけいこは辛いそうですが、「試合がないので、たくさんけいこをします。冬が明けて春になったら、その成果が出るのがうれしい」と剣道への思いが本心に強い本永さんです。

全国に向けて「これからが本番。先生のアドバイスを受け入れて、必ず一回戦は勝ちたい。できれば入賞も」と控えめなコメントですが、初の全国の舞台で健闘が期待されます。

▶数字で見る市勢

※12月1日現在
※()内は前月比

人口	40,542人(-10人)
男	19,815人(+6人)
女	20,727人(-16人)
世帯	11,618世帯(+15世帯)
出生	31人
死亡	33人
11月中の 転入	62人
転出	70人

編集ルーム

◎1町8村の合併を経て、昭和34年に「白根市」が誕生。「白根市政だより」は、市政施行から3年目に創刊しました。◎広報紙の縮刷版は、まさに時代の縮図です。一時点の市政情報が、時を重ね、自然と「歴史」の風格を帯びてくる様子には感動を覚えます。◎合併という節目の今年、形は変わりますが、広報紙はこれからも市民の皆さんと一緒に歴史を紡いでいきます。(も)

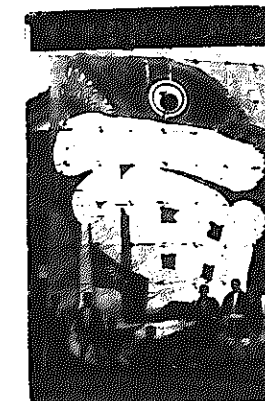
十月の風フェスティバル会場。「古い大風の写実があるんだけど、見るかね」。ひとりの若者が話し掛けてきました。「見せて」。明治四十五年鯛町組の「第一回優勝旗授受記念」のものでした。真ん中に、レレヒ中佐が贈ってくれた優勝旗が誇らしげに掲げられています。

驚きました。ハナオが六十三本も取り付けられる骨組みになっていたからです。ちなみに今は、それが四十二本です。ハナオの本数を減らすことは、風骨の数も減るといふことです。風もそれだけ軽くなるのです。約百年の間に、風の軽量化に、いかに努力したかを物語る写真でした。

風は進化の過程で、風と戦う剛体型と、風と陸みながら揚がる、柔構造型に分かれていったと考えられています。後者の例は、まれです。白根はその代表です。風を戦わせたいばかりに、最も進歩した大風が生まれたのです。

写真は裏返しになって焼き付けられていました。そのまま載せました。

優勝記念写真(白根)



あなたも風博士

文・田村和雄
(しろね大風と歴史の館運営委員会委員長)